

IATTC-WCPFC 北小委員会合同作業部会 の結果についての J F 全漁連コメント

8月18日、IATTC-WCPFC 北小委員会合同作業部会の第2回目が開催された。

前回の合同作業部会において、メキシコの一方向的な提案により参加国の合意に至らなかったが、その後の山下農林水産副大臣のメキシコ訪問をはじめ政府による精力的な働きかけの結果、今回、参加国の合意に至ったことについて、我が国の関係漁業者はひとまず評価している。

まずは、短期間で調整、交渉にあたった政府関係者のご尽力に敬意を表するものである。

しかしながら、現在、太平洋クロマグロ資源は過去に例を見ないほどの水準まで回復・増加しており、関係漁業者は、未だ回復の恩恵を受けられていないばかりか、クロマグロを漁獲対象としていない小型いか釣り漁業や定置網漁業等沿岸漁業にも大きな損害を及ぼしている。

ついては、年末の年次会合に向け、作業部会で合意した増枠を勝ち取るよう、あらためて強く求めるものである。

また、増加したクロマグロ資源の混獲による放流作業や漁具被害、非漁獲対象漁業における操業への支障など、現場の漁業者が直面している課題の解消に向けた支援策について、早急に具体化・実現するよう強く求めるものである。

2026年8月18日

全国漁業協同組合連合会